

第5回三重NST研究会学術集会

日時 : 2007年6月30日(土) 13:30~16:30

場所 : 済生会松阪総合病院 「講堂」

三重県松阪市朝日町1区15番地6

TEL 0598-51-2626

情報提供 「中心静脈栄養1500ml 製剤」 株式会社大塚製薬工場 朝波省吾 13:30~14:00

開会の辞 済生会松阪総合病院 内科部長 清水 敦哉 先生

セッション 一般演題

14:00~15:00

司会 尾鷲総合病院 外科医長 加藤弘幸 先生

1. 「アルブミン測定法の現状と問題点 BCP改良法を導入して」
済生会松阪総合病院 検査課 笠井久豊先生
2. 「胃切後、経口摂取困難にて経管栄養であった患者がNST介入により経口摂取可能になった事例」
津生協病院 薬局 小菅美佳先生
3. 「胃癌術後の難治性下痢症に対してNSTが介入した1例」
紀南病院 薬剤部 中島和孝先生
4. 「仙骨部褥瘡、全身湿疹を有する終末期癌患者に対するNSTの介入」
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 看護部 紀平恭子先生

休憩

15:00~15:10

セッション 一般演題

15:10~16:10

司会 藤田保健衛生大学 医学部 外科学・緩和ケア講座 准教授 伊藤彰博 先生

5. 「栄養サポートチームによる肥満患者の減量の1例」
鈴鹿中央総合病院 看護部 武田典子先生
6. 「重度呼吸器障害におけるライフロンQLの投与方法と効果」
尾鷲総合病院 看護部 内野博久先生
7. 「脳出血後の嚥下障害に対しPEGによる栄養改善が嚥下能力向上に効果的であった1例」
尾鷲総合病院 リハビリテーション部 矢賀進二先生
8. 「PEG造設早期に発生したバンパー埋没症候群の2例」
済生会松阪総合病院 内科 清水敦哉先生

特別コメーション

16:10~16:30

藤田保健衛生大学 医学部 外科学・緩和ケア講座 教授 東口 高志 先生

閉会の辞

済生会松阪総合病院 内科部長 清水 敦哉 先生

当日、医療及び福祉関係者は参加費として1,000円を徴収させていただき、会場の運営費に充てさせていただきたいと思っております。

尚、本研究会参加者は日本静脈経腸栄養学会認定資格栄養サポートチーム専門療法士認定単位(5単位)・三重県病院薬剤師会生涯研修(1単位)の各単位が認定されます。

共催 三重NST研究会/株式会社大塚製薬工場/大塚製薬株式会社

後援 日本静脈経腸栄養学会/三重県病院薬剤師会/三重県臨床検査技師会